



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 石原産業株式会社

コード番号 4028 URL <http://www.iskweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 一孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務本部長

(氏名) 寺川 佳成

TEL 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,534	9.1	4,056	413.4	1,137	—	△1,599	—
23年3月期第3四半期	69,242	0.2	790	—	△2,472	—	△2,920	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △2,345百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △3,840百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3.99	—
23年3月期第3四半期	△7.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	162,662	45,809	28.2
23年3月期	172,429	48,158	27.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 45,795百万円 23年3月期 48,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	4.0	9,500	5.1	6,500	5.5	2,500	△48.5	6.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	403,839,431 株	23年3月期	403,839,431 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	3,740,239 株	23年3月期	3,709,794 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	400,114,582 株	23年3月期3Q	400,207,093 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
(4) 重要な偶発債務.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新興国の経済成長に牽引され緩やかな回復基調でスタートしましたが、第3四半期以降、欧州債務危機問題深刻化の影響が米国経済や中国などアジア地域経済へも波及し、世界経済は減速傾向を強めています。日本経済についても、東日本大震災の影響から立ち直りつつありましたが、ここに来て世界経済の減速や歴史的な円高の定着により、先行き不透明となってきました。

このような状況の中、無機化学事業部門の売上高は434億円（前年同期比59億円増）となりました。主力の酸化チタンでは、第3四半期に入り中国などアジア地域での景気減速の影響を受けましたが、上半期の好調に支えられて売上高は増加しました。機能材料については、電子部品用途向け市場の低迷が長期化しており、売上高は減少しました。

有機化学事業部門の売上高は289億円（前年同期比24億円増）となりました。主力の農薬については、国内販売が震災や病害の少発生による需要減の影響を受ける中で前年同期並みを確保するとともに、海外では、除草剤の新規製剤品の本格投入や殺虫剤の販売増などが寄与し、売上高は増加しました。

建設事業は売上高22億円（前年同期比20億円減）、その他の事業は売上高7億円（前年同期並）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高755億円（前年同期比62億円増）、営業利益40億円（前年同期比32億円増）、経常利益11億円（前年同期は24億円の経常損失）となりましたが、税制改正に伴う法人税率変更によって繰延税金資産の取り崩しを行ったことから当四半期純損失15億円（前年同期は29億円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて97億円減少して1,626億円となりました。これは、たな卸資産が16億円増加しましたが、現預金が16億円、受取手形及び売掛金が55億円、有形固定資産が18億円、繰延税金資産が16億円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて74億円減少し1,168億円となりました。これは、支払手形及び買掛金が29億円増加しましたが、長短借入金が80億円、フェロシルト回収損失引当金が19億円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産については、四半期純損失を15億円計上したこと、円高により為替換算調整勘定が6億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比23億円減少の458億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し等を踏まえて、平成23年11月7日に公表しました平成24年3月期の通期業績予想（連結・個別）を修正しました。

詳細は平成24年2月10日に別途公表しました「通期業績予想の修正（連結及び個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(4) 重要な偶発債務

当社四日市工場内の土壌・地下水の汚染修復対策並びに工場内に存在すると推定される埋設物への措置費用については、当期に支出した費用及び当四半期末において合理的に見積もられる範囲内の費用を特別損失に計上し、それ以外で現時点において合理的に見積もることができない恒久的な汚染修復対策の費用及び埋設物の措置費用は計上しておりません。

1 四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応

コンプライアンス総点検後に実施した当社四日市工場内の土壌・地下水調査の結果、主に過去の生産活動に由来すると考えられる汚染が判明したため、当社は三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出書を、所管する四日市市に提出しました。その後、第三者の学識経験者による環境専門委員会の指導と助言の下、平成22年度末までに、汚染状況及び汚染源の特定に関する調査、汚染の拡散防止策にかかわる設計データの収集、原因物質の除去や不溶化の工法についての試験施工の実施などを進めてまいりました。平成23年度は、汚染地下水の拡散を防ぐための揚水設備を設置して試験揚水を開始しており、また、引き続き試験施工の結果等を踏まえた詳細な調査を継続しております。これら調査・検討結果などに基づく具体的な汚染修復対策については、平成23年度末以降に段階的に固まってくるものと見込まれます。

2 四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応

コンプライアンス総点検において公表した、四日市工場内において撤去を要すると考えられる埋設物等の現時点における調査結果は、下記項目に記載のとおりであります。将来的に一定の範囲での業績への影響は避けられないものと考えていますが、当該場所を含め工場内各所の空き地が、広くフェロシルトの仮保管場所となっている状況下では、効率的に詳細調査を継続することができず、現在も埋設物の種類・性状・埋設量等の全体概要の確認には至っておりません。

このような現状に鑑み、下記案件についての埋設物の埋設位置・範囲・性状・数量の特定や適切な撤去方法など更なる細部検討は、四日市工場内で仮保管中であるフェロシルトの最終処分が完了する平成26年度以降とし、それまでの間は、現在も実施している周辺環境への影響を継続的にモニタリングしてまいります。

①第2グラウンドの埋設物

当該場所は、過去に沈澱池として使用されていた経緯から、合法的に処理された廃棄物も存在しており、これらと違法性の認められる埋設物を峻別の上撤去することとなります。埋設物の位置を特定するための確認調査の過程で、地中での金属反応と他の地層と異なる地質が存在することを確認しており、ボーリング及び試掘調査を実施した結果、一部の廃棄物（金属物）の埋設が確認されています。

②旧SR（合成ルチル）工場跡地の無機性汚泥など

同工場跡地で仮保管していた施工地からの回収フェロシルトは、平成21年1月から搬出を開始し、搬出が完了した区画で一部掘削を実施しました。一部の掘削区画からはフェロシルトと思われる無機性汚泥が確認されています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,082	20,452
受取手形及び売掛金	27,677	22,078
商品及び製品	24,376	25,588
仕掛品	6,306	5,930
原材料及び貯蔵品	11,357	12,209
繰延税金資産	2,190	2,221
その他	2,331	2,172
貸倒引当金	△249	△163
流動資産合計	96,072	90,489
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	22,499	21,781
その他（純額）	33,608	32,473
有形固定資産合計	56,107	54,255
無形固定資産		
のれん	23	5
その他	313	292
無形固定資産合計	336	298
投資その他の資産		
投資有価証券	4,874	3,823
繰延税金資産	13,527	11,834
その他	1,668	2,134
貸倒引当金	△141	△156
投資損失引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	19,913	17,619
固定資産合計	76,357	72,172
資産合計	172,429	162,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,085	17,014
短期借入金	32,285	33,131
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	416	174
フェロシルト回収損失引当金	2,599	2,212
その他の引当金	848	535
その他	7,677	8,321
流動負債合計	58,113	61,590
固定負債		
社債	1,800	1,700
長期借入金	40,041	31,145
退職給付引当金	8,406	7,875
フェロシルト回収損失引当金	9,875	8,271
その他の引当金	586	554
資産除去債務	861	869
その他	4,586	4,844
固定負債合計	66,157	55,261
負債合計	124,270	116,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,625	10,626
利益剰余金	△1,713	△3,313
自己株式	△672	△676
株主資本合計	51,660	50,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	△35
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△3,611	△4,259
在外子会社年金債務調整額	32	32
その他の包括利益累計額合計	△3,516	△4,262
少数株主持分	15	14
純資産合計	48,158	45,809
負債純資産合計	172,429	162,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	69,242	75,534
売上原価	53,962	56,805
売上総利益	15,279	18,728
販売費及び一般管理費	14,489	14,672
営業利益	790	4,056
営業外収益		
受取利息	17	43
受取配当金	88	69
その他	188	250
営業外収益合計	294	362
営業外費用		
支払利息	1,363	1,349
持分法による投資損失	80	153
為替差損	1,307	971
その他	806	806
営業外費用合計	3,557	3,281
経常利益又は経常損失(△)	△2,472	1,137
特別利益		
前期損益修正益	41	—
固定資産売却益	—	1
保険差益	21	—
負ののれん発生益	38	—
事業構造改善引当金戻入額	44	—
その他	64	—
特別利益合計	209	1
特別損失		
固定資産処分損	486	453
環境安全整備引当金繰入額	27	155
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	802	—
その他	47	161
特別損失合計	1,363	769
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,626	368
法人税、住民税及び事業税	268	380
法人税等調整額	△968	1,588
法人税等合計	△699	1,968
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,926	△1,600
少数株主損失(△)	△6	△0
四半期純損失(△)	△2,920	△1,599

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,926	△1,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△97
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△832	△656
在外子会社年金債務調整額	△4	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	7
その他の包括利益合計	△913	△745
四半期包括利益	△3,840	△2,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,829	△2,345
少数株主に係る四半期包括利益	△11	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	37,564	26,543	4,383	751	69,242	—	69,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,711	729	3,440	△3,440	—
計	37,564	26,543	7,094	1,480	72,683	△3,440	69,242
セグメント利益	745	1,105	243	113	2,208	△1,418	790

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,418百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,532百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
30,538	16,312	7,389	14,781	220	69,242

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	43,471	28,971	2,293	797	75,534	—	75,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,497	1,040	4,538	△4,538	—
計	43,471	28,971	5,790	1,838	80,072	△4,538	75,534
セグメント利益 又は損失 (△)	5,220	264	△263	120	5,342	△1,286	4,056

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,286百万円には、セグメント間取引消去175百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,461百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
32,791	17,899	8,034	16,604	205	75,534

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。